

生ごみ堆肥の塩分濃度の簡易測定法

生ごみを堆肥として有効利用してゆくことが求められていますが、生ごみを材料とした堆肥は、塩分含量が高いのではないかとの不安があり、利用が進んでいません。

そこで、現場で行うことができる生ごみ堆肥（生ごみ処理物）中の簡易な塩分（塩化物イオン）濃度測定法について検討しました。その結果、生コンクリートおよび細骨材中の塩化物イオン測定試験紙を用いることによって生ごみ堆肥（生ごみ処理物）中の塩分濃度評価が可能であることが明らかになりました。

本方法により、生ごみ堆肥の利用時に不安材料とされる塩分含有量を簡易に判定することができます。

図1 試験紙による生ごみ堆肥（生ごみ処理物）塩分濃度測定の手順

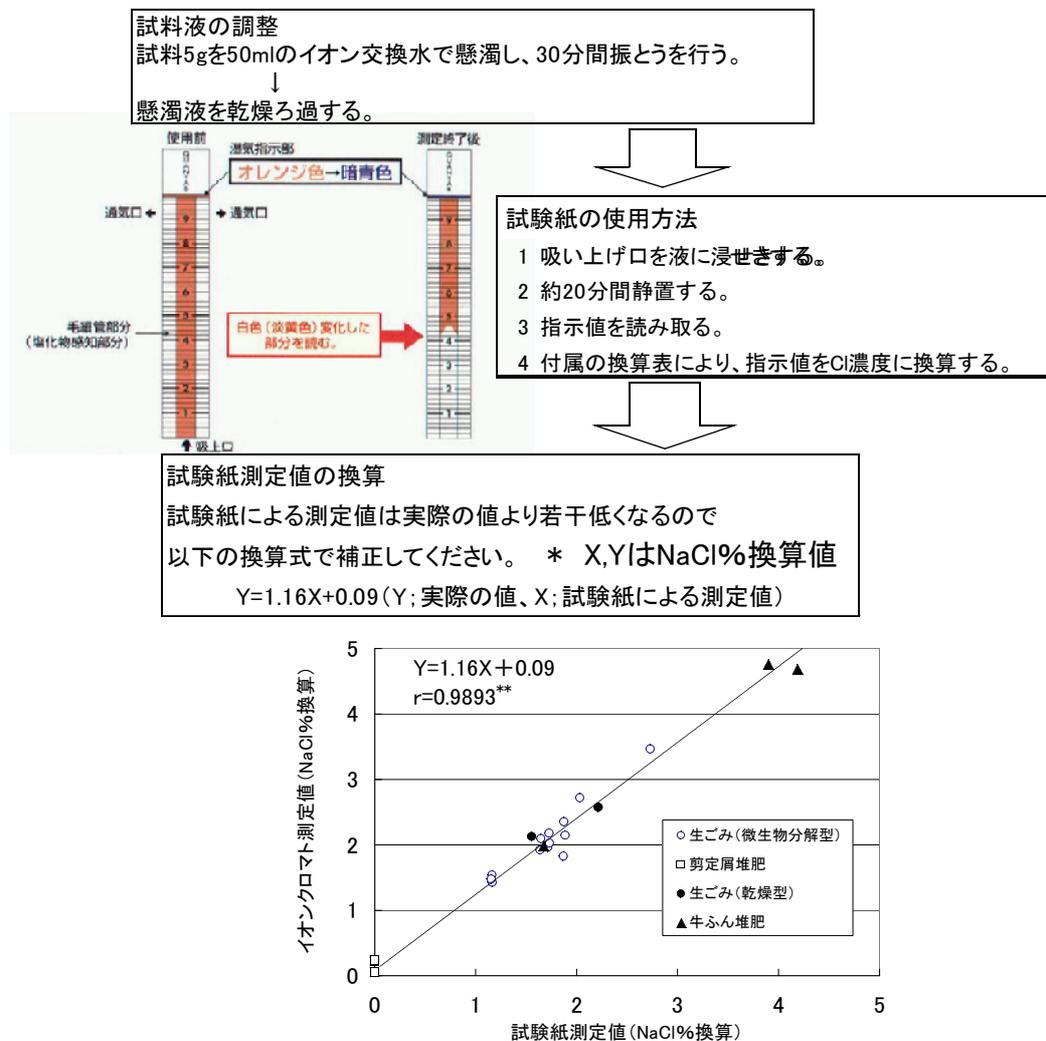


図2 簡易測定法とイオンクロマトグラフ法（実際の値）の関係